



The University of Tokyo Foundation  
Annual Report 2017

# 東京大学基金

## 2017年度活動報告書



## 「知の協創の世界拠点」の形成に向けて

東京大学は、多様な人々が集い、互いを尊重し合いながら知恵を出し合い協力する場を提供し、人類社会をより良い方向へ導くための、新たな社会の仕組みを提案していきたいと考えています。私たちは、昨年の指定国立大学法人への認定申請を期に、「地球と人類社会の未来に貢献する『知の協創の世界拠点』の形成」という構想を全学でまとめ、この指定国立大学法人の制度を生かして、東京大学がより良い社会への変革を駆動すると宣言しました。今後も全学の総力を結集し、社会と大学がこれまで以上に強い信頼関係を持って、一緒に力強く行動していきたいと思っております。皆様の温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

東京大学総長

五神 真

## 2017年度報告 (2017年4月～2018年3月)

### 東京大学基金 申込総額は23.9億円

東京大学基金2017年度の寄附金活動は、皆様からの温かいご支援により、総額23.9億円に達しました。東京大学基金に対しまして深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様のご寄附は「東京大学基金」を柱として積立て、運用原資として活用させていただくとともに、寄附の目的に沿ってそれぞれの事業の支援に充てております。

寄附申込総額*	10,797件	2,386,794,858円
うち法人	309件	1,501,428,380円
うち個人	10,488件	885,366,478円

※寄附申込書に記載された金額

### 申込総額の内訳

目的を指定しない寄附	2.9億円	●「東京大学基金」のコアとして積立、運用原資として活用
目的指定の寄附	21.0億円	<p>●主なプロジェクト(金額は概算)</p> <p>〈キャンパス環境整備〉4.15億円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Life in Green プロジェクト(小石川&amp;日光植物園)</li> <li>東京大学新図書館計画「アカデミック・コモンズ」</li> <li>中央食堂リニューアル事業(東京大学創設140周年記念)</li> <li>山中寮内藤セミナーハウス リニューアル支援</li> <li>山上会館リノベーション事業(東京大学創設140周年記念) 他</li> </ul> <p>〈奨学金等〉4.22億円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中国人留学生向け奨学金充実・中国との短期交流プログラム活性化</li> <li>東京大学グローバルリーダー育成プログラム</li> <li>アイングループScholarship</li> <li>さつき会奨学金基金 ・Go Global 奨学金基金 ・PEAK奨学金</li> <li>長島雅則奨学金基金 ・東京大学トヨタ・ドワンゴ高度人工知能人材奨学金 他</li> </ul> <p>〈教育・研究支援／寄付講座・寄付研究部門〉11.39億円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数理・情報教育研究センター支援 ・カブリ数物連携宇宙研究機構支援</li> <li>スポーツ先端科学研究拠点支援 ・宇宙線研究所若手支援基金</li> <li>プラチナ基金 ・医科研125周年IMSUT125-50</li> <li>マリン・フロンティア・サイエンス・プロジェクト(三崎臨海実験所)</li> <li>ゼンショー 東京大学・南京リベラルアーツ・学生交流プログラム</li> <li>「微生物潜在酵素(天野エンザイム)」寄付講座</li> <li>「骨・軟骨再生医療」寄付講座 ・「航空イノベーション」総括寄付講座</li> <li>「総合癌研究国際戦略推進」寄付講座</li> <li>スルタン・カプース中東研究寄付講座 他</li> </ul> <p>〈その他〉1.23億円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東大スポーツ振興基金 ・東京大学校友会支援基金 他</li> </ul>



## より自律的な経営基盤へ

昨年、東京大学は大きな節目を迎えました。2017年4月に国立大学法人法が改正され、指定国立大学法人に指定された本学は、より経営力を高め、より自律的に運営することによって、高い水準の教育研究を行うことが求められています。この取組を着実に進めるために重要なことは、私たちが持っている資源を有効活用することに加え、財政基盤の多様化に取り組むことです。東京大学は、2004年の法人化を機に「東京大学基金」を設立し、様々な取組を推進してまいりましたが、今後も大切な資源を効果的に活用しながら、新たな発想をもって改革に取り組んでまいります。今後ともより一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

東京大学 大学執行役・副学長  
社会連携本部長

藤井 輝夫

### 東京大学基金期末残高の状況

東京大学基金	10,817,520,683円
うち非目的指定寄附基金	8,729,403,839円

### (参考) 東京大学支援のため設けられているその他の基金

信託基金(米国)	5,000,000米ドル
カブリIPMU基金	12,500,000米ドル
スルタン・カブース 中東研究寄付講座用基金	2,500,000オマーンリヤル (1オマーンリヤル=約276円 2018.3.31現在)

◎協定等により寄附者が基金を設置し、自ら運用を行い、その運用益を定期的に東京大学基金にご寄附いただくものです。

### 東京大学基金の運用状況

東京大学基金による運用益 <sup>※</sup>	91百万円
---------------------------	-------

※東京大学基金の運用について

2017年度東京大学基金の平均残高は約109億円でした。東京大学基金残高のうち19億円に関しましては、2008年度から信託勘定を設定し独自の運用をおこなっています。残りの基金は大学全体の余裕資金との合同運用による長期運用をおこない、基金分は別管理をしています。運用は国債、地方債を中心に、ユーロ円債などを加えた国立大学法人の運用規制の範囲内で行っています。2017年度は信託勘定分19億円の利回りが1.19%、またそれ以外の90億円に関しましては利回り0.77%となり、全体の運用益は約91百万円となりました。今後も皆様からのご寄附を安全かつより有利に運用するよう努力してまいります。

### 東京大学基金の活用状況

東京大学基金の運用益	東京大学基金は上記のとおり適切に運用管理しており、生じた利息については、以下の用途に使用しています。 ①奨学金給付制度の充実 ②教育・研究の支援 ③キャンパス環境の整備
目的指定寄附基金	目的指定の寄附につきましては、該当プロジェクトの活動資金として活用しています。プロジェクトの特性により、進行に合わせ計画的に使用するものや、一定金額に達するまで留保しているものなどがあります。
非目的指定寄附基金	「東京大学基金」のコアとして積立、運用原資として活用する他、その一部を大学の重要な事業に充て、寄附者の皆様にその成果をお示しできるよう活用してまいります。 <sup>※</sup>

※東京大学基金の活用について

東京大学基金は、基金を積み上げ、その運用益を従来活用してきましたが、基金の更なる充実を図るには、基金本体を活用し、その成果を寄附者のご期待に目に見える形で応えていく必要があると考えています。この考えのもとに、2017年度は、基金本体から1.3億円を渉外活動経費の一部に充当いたしました。今後も、更なる基金の充実を目指すために、寄附者の方々のご期待に応える活用方法の検討を進めてまいります。

## ■ 2017年度 主なプロジェクトの報告

### 東京大学創設140周年記念 中央食堂リニューアル事業

東京大学のシンボルである安田講堂の地下に位置する中央食堂は、近年老朽化が進み、留学生の増加や健康志向など多様なニーズへの対応が求められていたため、大学創設140周年を記念して2017年8月から2018年3月までの間、リニューアル工事を行いました。4月2日のグランドオープン後は、ハラル対応メニュー、ベジタリアン対応メニュー、健康志向のヘルシーメニュー等を提供し、オムライス専門店やカフェも出店するなど、利用される多くの方が快適に過ごせる空間を提供しております。

この事業に係った費用の一部について、2018年9月までご支援を承っており、一括で3万円以上のご寄附をくださった方のお名前を食堂ホール内特設銘板に残し、末永く顕彰させていただきます。何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



「赤門ラーメン」人気です！  
ぜひお立ち寄りください

### 東京大学創設140周年記念 山上会館リノベーション事業

山上会館の歴史を辿れば江戸時代までさかのぼります。1923年の関東大震災による焼失後、数度の増改築を経て、東京大学創設100周年事業の一環として1986年に現在の形になりました。国立国会図書館や国立西洋美術館新館などを設計した本学卒業生でもある著名な建築家、前川國男氏の設計による山上会館は、前川氏の最晩年の作品のひとつです。

山上会館は、学会ができる大きな会議室、分科会用の小会議室、懇親会ができるレストランの各機能がひとつにまとまった貴重な建物です。しかし近年の老朽化は隠し切れず、昨今のグローバル化に対応し、「知の協創の場」として国際会議や学会を開催し、東京大学の発信力を強化するために、国際基準の会議場に生まれ変わります。

この事業に係る費用の一部について2018年9月までご支援を承っており、一括で3万円以上のご寄附をくださった方のお名前を2階ホワイエ内特設銘板に残し、末永く顕彰させていただきます。何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



山上会館大会議室の完成予想図

### 新図書館計画「アカデミック・コモンズ」

東京大学総合図書館は、1923年の関東大震災で壊滅的被害を受け、米国のジョン・ロックフェラーJr.氏の寄附によって、1928年に再建されたものです。当時としては世界最先端の建物・設備でありましたが、施設設備の老朽化は免れず、蔵書の収容能力にも限界が来ておりました。そこで、この貴重な建造物と学術資料を次世代に継承し、世界に開かれた知の集積・創造・発信を行う21世紀にふさわしい新図書館を実現するため、新図書館計画「アカデミック・コモンズ」を推進しております。2012年10月からご支援をお願いし、おかげさまで累計10億円ものご寄附のお申込を賜り、2017年5月には図書館前広場の地下に、自動化書庫と教育・研究のための多機能スペース「ライブラリー・プラザ」を擁した「別館」が完成いたしました。しかし、伝統ある「本館」は、外観の保存工事と内部の全面改修工事が現在もまだ続いております。寄附募集金額の目標である40億円に向けて、皆様からさらなるご支援を賜りたく、ここにお願い申し上げます。



閲覧室も明るく使いやすくなりました！



# 東京大学基金を通して多様な事

## キャンパス 環境の 整備

東京大学は、そこで活動する人々によって命を吹き込まれ、実体化されています。それは自立した個人の集合であると同時に、さまざまな集団や人的ネットワークの重層体であり、外部に開かれた流動性も有しています。「世界最高の学びの舞台」にふさわしい場を実現するため、持続可能性を有し、価値創造と教育研究の社会展開を可能とするような環境の整備・施設の運営を行っています。

山上会館リノベーション事業（東京大学創設140周年記念） 中央食堂リニューアル事業（東京大学創設140周年記念）  
UTokyo 女性活躍支援基金 東大病院メディカルタウン基金 東京大学新図書館計画（アカデミック・コモンズ）  
Life in Green プロジェクト（小石川&日光植物園） 山中寮内藤セミナーハウス リニューアル支援

## 教育・研究 の支援

東京大学は、人文学、社会科学、及び自然科学の協働により、卓越性と多様性の相互連環を基本理念として、地球と人類社会の未来に貢献する「知の協創の世界拠点」の形成に向けて、我が国の高等教育の牽引というこれまでの機能の強化に加えて、世界最高水準の研究・教育を支える基盤の充実等、自らの機能の拡張に取り組んでいます。

トランスレーショナル・リサーチ・イニシアティブ（TR機構）活動支援 スポーツ先端科学研究拠点（UTSSI）研究支援  
プリンストン大学との戦略的提携基金 戦略的パートナーシップ大学プロジェクト（シカゴ大学）  
大和証券グループ本郷テックガレージ ゼンショー 東京大学・南京リベラルアーツ・学生交流プログラム 修学支援事業基金  
体験活動支援基金（FLY Program他） 明治新聞雑誌文庫 プラチナ基金 グローバルナーシングリサーチセンター基金  
理学系研究科・理学部基金 マリン・フロンティア・サイエンス・プロジェクト  
One Earth Guardians（地球医）育成プログラム支援基金 「東京大学の森」育成資金 経済学図書館・経済学部資料室  
ゼンショー 東京大学・ベトナム国家大学ハノイ校 日本研究拠点プログラム 子育て保育研究支援基金 数理科学研究科基金  
公共政策大学院基金 医科学研究所創立125周年・改組50周年記念事業「IMSUT One to Gogo基金」 史料編纂所基金  
宇宙線研究所若手支援基金 大型低温重力波望遠鏡（KAGRA）プロジェクト 政策ビジョン研究センター  
日本発アインシュタイン：カブリ数物連携宇宙研究機構（Kavli IPMU）支援 数理・情報教育研究センター（MIセンター）支援  
LIXIL Ushioda East Asian Humanities Initiative 音楽部管弦楽団活動支援基金

## 各運動部・ 東大スポーツ 全般の 支援

東京大学は、スポーツ活動についても教育・人材育成の重要な活動と位置付け、これを継続的に支援するため、東京大学基金内に「東大スポーツ振興基金」を設置しました。運動施設、保健体育寮・スポーティア、各運動部へのご支援をお願いしています。

東大スポーツ振興基金（スポーツ振興全体） 御殿下記念館整備支援基金 下賀茂寮開寮50周年支援基金 戸田寮支援基金  
山中寮内藤セミナーハウス支援基金 ア式蹴球部（サッカー部）支援基金 WARRIORS支援基金（アメフト部）  
応援部支援基金 空手部支援基金 剣道部活動支援基金 硬式野球部支援基金 自転車部支援基金 自動車部活動支援基金  
柔道部施設整備支援基金 準硬式野球部支援基金 少林寺拳法部支援基金 スキー部活動支援・留学生スキー講習会支援基金  
東京大学漕艇部支援基金 総務部支援基金 体操部支援基金 庭球部支援基金 軟式野球部活動支援基金  
バレーボール部支援基金 ホッケー部支援基金 ヨット部支援基金 ラグビー部支援基金 ラクロス部支援基金  
陸上運動部支援基金 その他 各運動部

# 業に活用させていただいています

## 奨学金 給付制度 の充実

東京大学では、意欲と能力のある学生等が経済的理由により修学を断念することなく、安心して学べるよう奨学金給付制度の充実を図ることで、基本理念である「世界的視野をもった市民的エリート」（東京大学憲章）の養成を基本としつつ、知をもって世界を舞台に人類社会に貢献する「知のプロフェッショナル」の育成をはかっています。

東京大学トヨタ・ドワンゴ高度人工知能人材奨学金

東京大学学部学生奨学金（高校予約型） NEC・東京大学フューチャー・AIスカラシップ

東京大学女子学生奨学金（大学院修士課程） Evonik Scholars Fund さつき会奨学金基金 東京大学光イノベーション基金

リーダー博士人材育成基金 東京大学グローバルリーダー育成プログラム 東大GEfil基金 東大生海外体験プロジェクト

GoGlobal奨学金基金 Fung Scholars Programme 東京大学トヨタ高度人工知能人材育成のための海外留学奨学金

大坪修 鉄門フェローシップ 傅徳林奨学金基金 中国との短期交流プログラム活性化 長島雅則奨学金基金

DMG森精機IT奨学金基金 外国人留学生支援基金 古賀信介奨学金基金 イオン スカラシップ 工学系研究科外国人留学生奨学金

UTRIP（理学系研究科サマーインターンシッププログラム） ミキモト・モース奨学金

PEAK奨学金制度 アイングループ Scholarship 大和日緬基金日本留学奨学金 真空イノベーション基金

## 寄付講座・ 寄付研究 部門

本学の教育研究の進展及び充実を図るために設置された講座及び研究部門のうち、特に東京大学基金を通したご寄附によって現在開設されているものをご紹介します。

骨・軟骨再生医療講座 運動器疼痛メディカルリサーチ&マネジメント講座 ロコモ予防学 新世代創薬開発

醸造微生物学（キッコーマン） 微生物潜在酵素（天野エンザイム） 金融機関のリスクマネジメント

流通を科学する（ニトリ） スルタン・カブース中東研究寄付講座 総合癌研究国際戦略推進寄付講座

DNP学術電子コンテンツ研究寄付講座 資本市場と公共政策 アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門

「航空イノベーション」総括寄付講座 「太陽光を機軸とした持続可能グローバルエネルギーシステム」総括寄付講座

「プラチナ社会」総括寄付講座 「革新分子技術」総括寄付講座

## 卒業生 ネット ワーク

東京大学は、社会に開かれた場を構築し、大学と社会の間の双方向コミュニケーションを強化するとともに、多様な人々の課題を発見・共有し、その解決に向けた創造的活動を実践しています。また、東京大学と校友会会員、および会員相互のコミュニケーションや連携活動を大幅に増進することにより、大学支援の環境を整え、「東京大学コミュニティ」の育成と発展を図っています。

東大EMP基金 東京大学校友会支援基金

## 東日本大震災 からの 救援・復興

東京大学は、東日本大震災の被災地域からの期待に応じ、東京大学として救援活動を支援するとともに、大学の社会貢献の一環として、当該地域における震災からの復興に向けた支援を行っています。

東日本大震災救援・復興支援プロジェクト 沿岸センター活動支援プロジェクト（大気海洋研究所）

## ■ 奨学生の声 IARUサステイナブルキャンパスプログラムでのインターンシップ体験

Go Global奨学基金奨学生 農学部フィールド科学専修3年(派遣時)

私は、サステイナブルキャンパス交換学生として、ケンブリッジ大学に2017年7月から8月にかけて5週間滞在しました。このプログラムは、IARUに加盟している大学間で学生を交換し、派遣先でサステイナブルキャンパス活動に従事するというものです。私は、TSCP学生委員会に所属していることもあり、このプログラムを通じて海外の大学におけるサステイナビリティへの取り組みを体験したいと思い、参加しました。滞在中は、ケンブリッジ大学のサステイナビリティを向上させるための活動を行っているEnvironment and Energy Sectionという部署でインターンシップを行いました。インターンシップ内容は、ケンブリッジ大学におけるサステイナブル調達のガイドラインを改訂するというものでした。インターンシップなので、職場にデスクが与えられ、そこでサステイナブル調達に関する業務を行いました。インターンシップ制は私とケンブリッジの学生2人の合計3人でしたが、みなそれぞれ異なる業務を行っていました。私は、現在のケンブリッジ大学のガイドラインや他大学の調達ガイドラインを読みながら改善点を考え、職場における上司や調達を担っている部署と話し合いながら新しいガイドラインを作成しました。



私が自分で設定した今回のプログラムの目的は、環境問題に対して様々な先進的な取り組みを行うイギリスにおけるサステイナブルの考え方や環境問題への意識を学ぶことでした。インターンシップ業務以外でも、職場の方々に、サステイナブルキャンパスの様々な取り組みやイギリス全体の環境への取り組みをお聞きすることができました。また、週末は自然保護地に行つて自然保護の現場も見してきました。

今回のケンブリッジでの経験は、今後のTSCP学生委員会での活動、生物多様性保全に関わる学科での今後の研究にとってとても有意義なものになると思います。この経験は、奨学金無しでは得られなかったと思います。この機会をくださった方々に感謝しています。

## ■ 2017年度 活動報告会・特別セミナー等

### 4月3日 小石川植物園お花見特別開放2017(功労貢献会員・貢献会員・賛助会員対象)

東京大学基金の春の恒例行事「小石川植物園 お花見特別開放」を、4月3日(月)の植物園休園日に特別開放し開催いたしました。気持ちの良い晴天の下、暖かな日差しを受けて桜が次々と花開いていくなか、1,000名近くの寄附者、そのご家族やご友人にご参加いただきました。2009年末に立ち上げました「Life in Green Project」は、多くの方々のご支援をいただき、おかげさまで累計寄附金額が5億円に近づいてまいりました。喫緊の課題である小石川植物園公開温室の建設がはじまりましたら、ライフイングリーン計画の第2期に着手し、温室活用を含めた植物園の整備事業をさらに推進していきたいと存じますので、なお一層のご支援をお願いいたします。



### 6月22日 東京大学基金 感謝の集い(前年度「貢献会員」以上になられた寄附者対象)

第11回目「東京大学基金 感謝の集い」を安田講堂および山上会館で開催し、全国各地から多くの寄附者の方々にご来場いただきました。第一部「感謝の集い」では、前年度の東京大学基金活動のご報告と、生産技術研究所の川添善行准教授による講演会、そして第二部「総長主催懇談会」が開催され、あっという間に楽しい時間は過ぎていきました。会の途中では、運動会応援部の演舞も披露され、「ただ一つ」を寄附者と学内関係者が一緒に歌って大変盛り上がりしました。

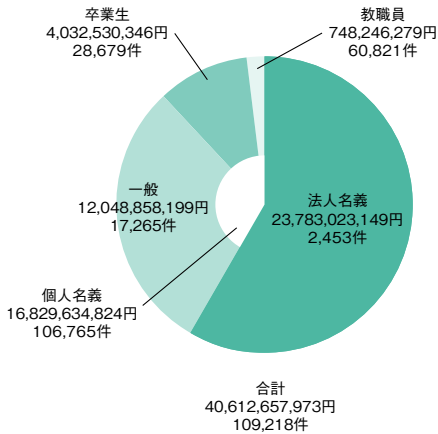


## ■ 数字で見る寄附の実績（2018年3月31日現在）

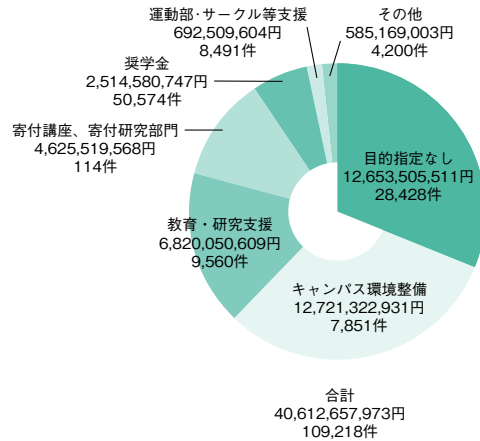
東京大学基金を設置してからの寄附実績（累計）は以下のとおりです。

※円グラフの割合は金額ベースです。

### 寄附者の内訳

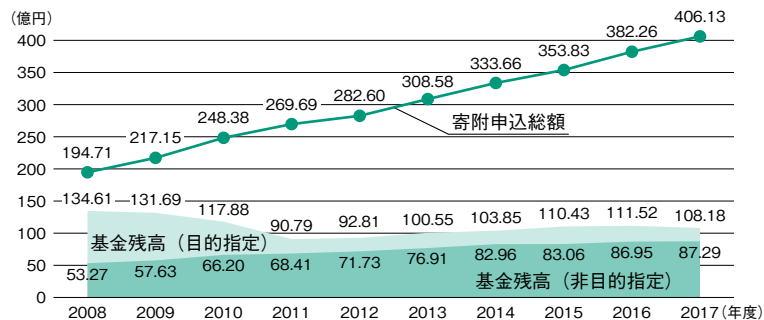


### 寄附目的の内訳



※基金開設以来の累計

### 基金の推移



### 称号別の人数 (件) 数

称号	個人	法人団体
特別栄誉会員 1億円以上のご寄附	26	56
栄誉会員 1,000万円以上のご寄附	82	199
特別貢献会員 500万円以上のご寄附	54	57
功労貢献会員 100万円以上のご寄附	570	149
貢献会員 30万円以上のご寄附	2,912	185
賛助会員 10万円以上のご寄附	3,368	138



東京大学基金銘板（貢献会員以上）

### 東京大学基金へご支援のお願い

皆様の東京大学基金へのさらなるご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

- ご寄附のお申込み
- 書面によるお申込み：指定の「払込取扱票」に必要事項をご記入の上、各金融機関窓口よりお振込みください。各プロジェクトへの指定寄附も可能です。
  - WEBサイト (<http://utf.u-tokyo.ac.jp/>) によるお申込み：東京大学基金WEBサイトからもお申し込みいただけます。（クレジットカード・ペイジー・ネットバンキング可）

東京大学基金事務局

〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1 Tel: 03-5841-1217 Fax: 03-5841-1219 Email: kikin.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp URL: <http://utf.u-tokyo.ac.jp/>